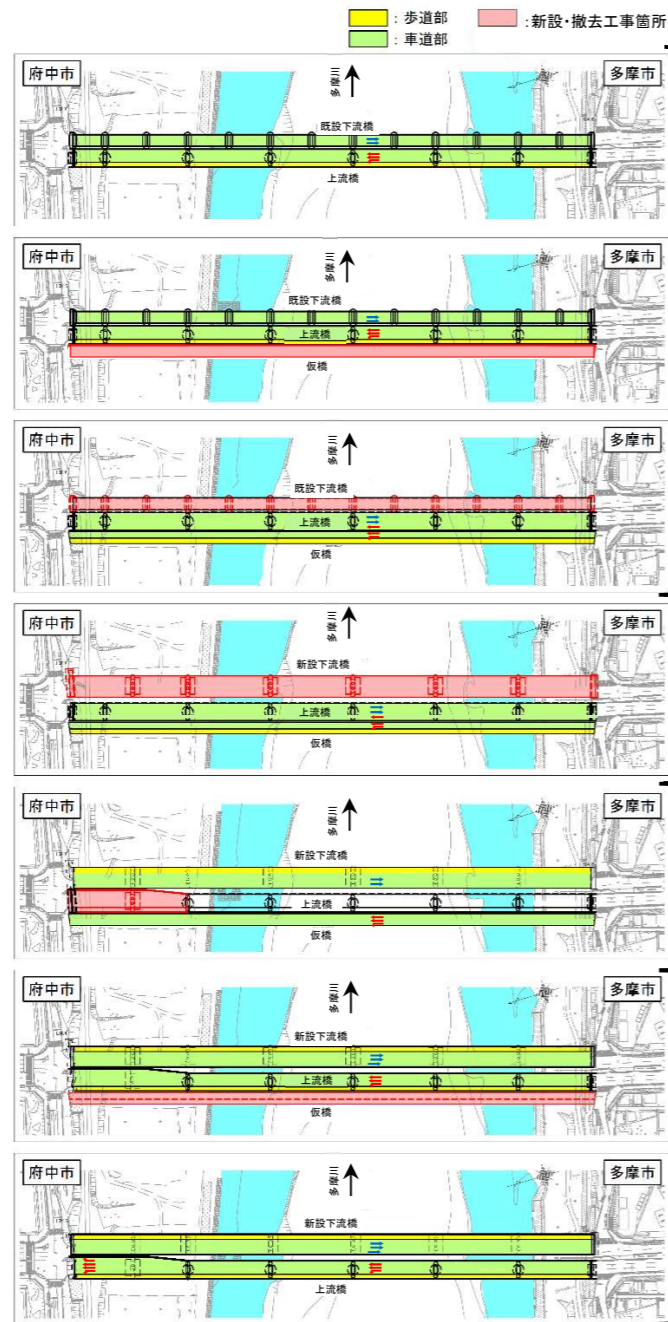
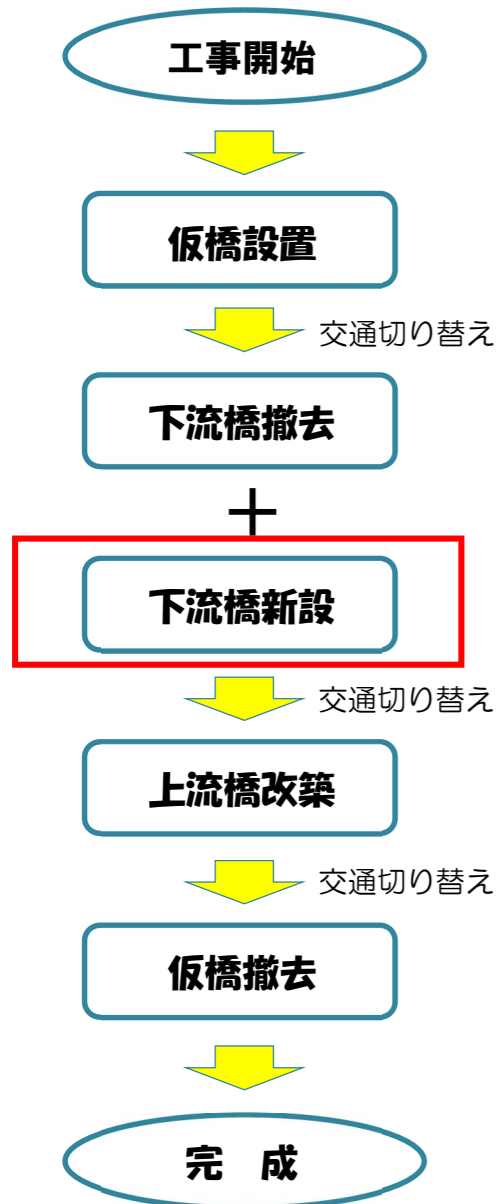


■ 関戸橋架け替え工事手順



施工済み

施工中

約4年間

約2年間

【お問い合わせは・・・】

○事業全般に関すること

東京都北多摩南部建設事務所

工事第一課 設計担当 ☎ 042-330-1838

〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/>

※「関戸橋通信」バックナンバーは、HPにて公開中です。



○仮橋に関すること

東京都南多摩東部建設事務所

工事課 道路設計総括担当 ☎ 042-720-8643

〒194-0021 東京都町田市中町1-31-12

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/nantou/>



関戸橋通信

～多摩市と府中市を結ぶ  
関戸橋架け替え事業～



Vol. 13  
2026.3

発行

東京都北多摩南部建設事務所 工事第一課

東京都南多摩東部建設事務所 工事課

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/>

※「関戸橋通信」バックナンバーは、HPにて公開中です。



■ 橋の上部仕上げ工事を実施します ～ 11年目工事に着手 ～

日頃より東京都の道路整備事業に、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。  
一昨年11月からの工事（10年目・11年目工事）においては、地域にお住いの皆様や橋を利用される多くの方々のご理解とご協力により、新しい橋の上部（桁及び床版）の施工を無事進めることができました。改めて厚く御礼申し上げます。

今年の5月以降には、新しい橋の上部仕上げ工事などを行ってまいります。

今後も車両の出入りや一時的な交通規制などで、皆様には何かとご不便をおかけする場面もございますが、安全第一で着実に工事を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

東京都北多摩南部建設事務所長  
東京都南多摩東部建設事務所長



けんちゃん・せつちゃん

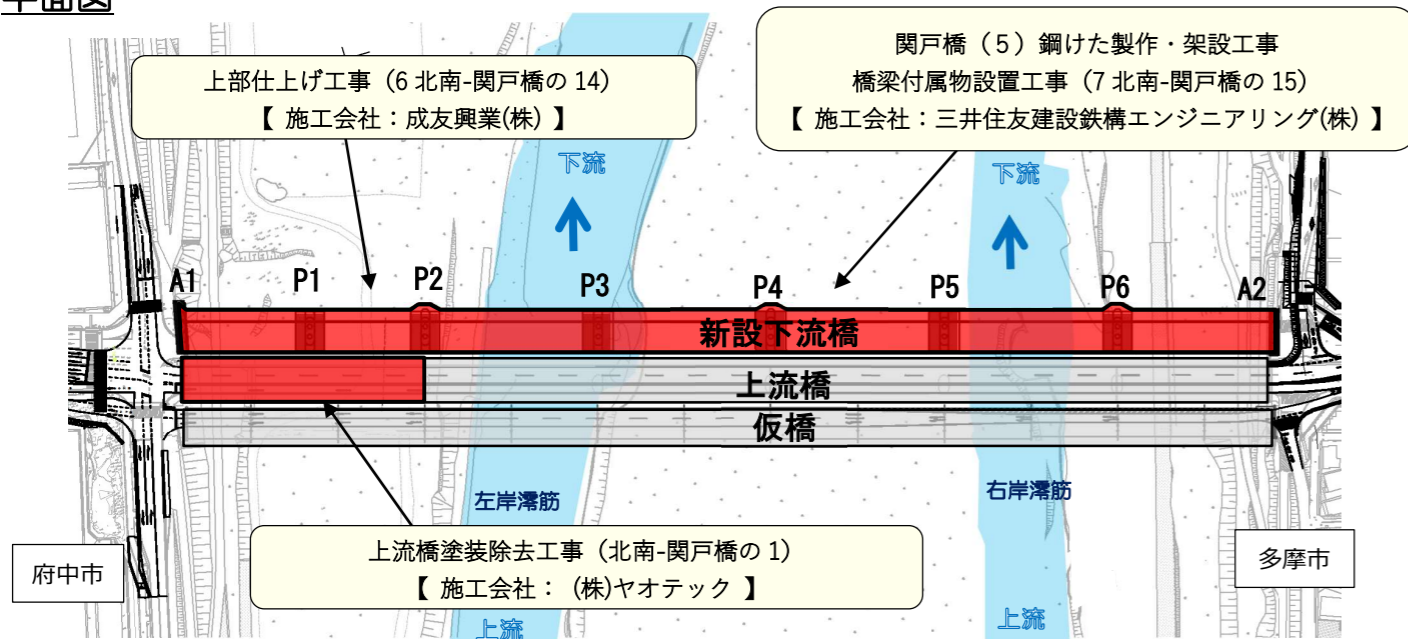


10・11年目工事状況（全景）（多摩川下流側から上流側を望む）令和8年2月撮影

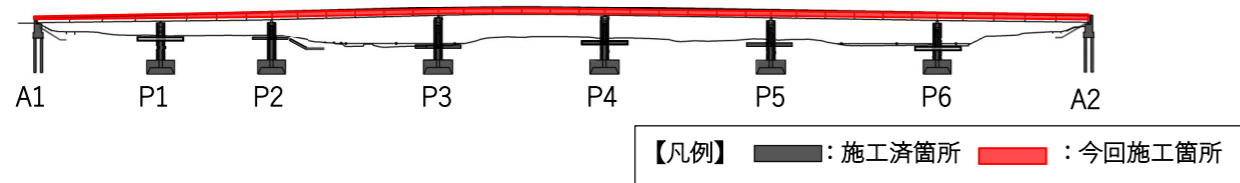
今回の工事概要

今回着手する11年目工事では、下流側の新しい橋の上部仕上げ工事等を行います。  
 具体的には、高欄、親柱、照明などの設置を行うほか【断面図青色の部分】、橋梁付属物設置工事で地覆、伸縮装置などの設置を行います【断面図緑色の部分】。  
 また、上流橋改築工事の着手に先駆け、A1～P2間の塗装除去工事にも着手しました。残る区間についても引き続き塗装工事を行ってまいります。  
 施工にあたっては、騒音や一時的な交通規制など周辺の皆様には何かとご不便ご迷惑をおかけするかとありますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。  
 なお、11年目工事については、下図の施工会社が工事を行います。

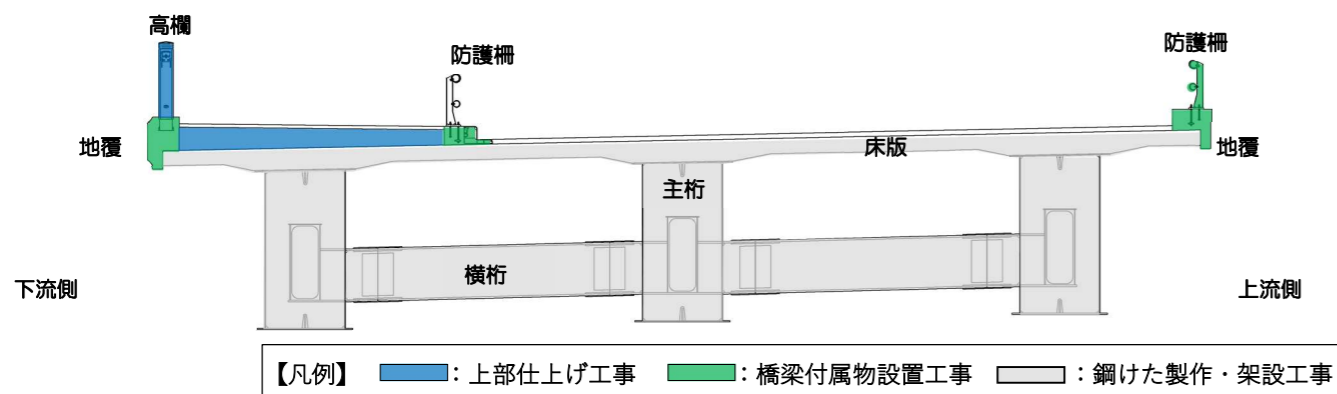
平面図



側面図(下流側新設橋)



断面図(下流側新設橋)



橋の付属物“名脇役図鑑”

親柱

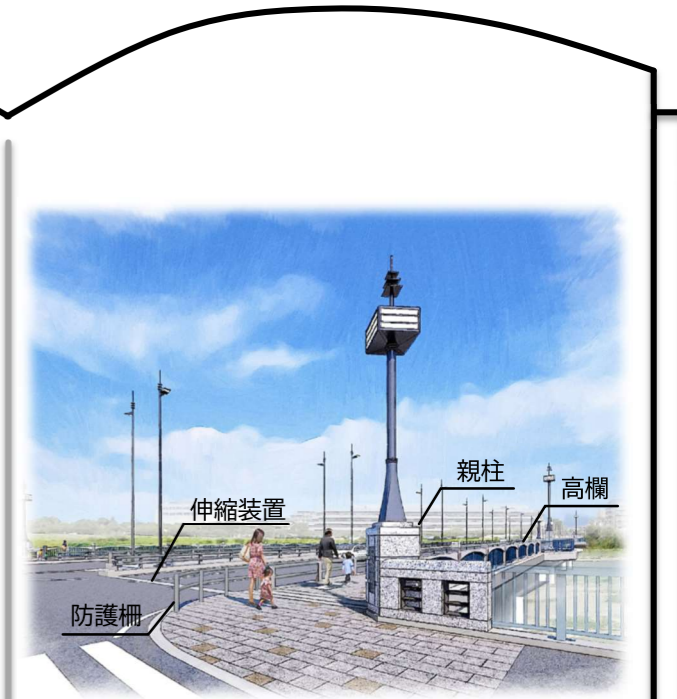
橋名を示す「橋の顔」として、橋の両端に立つ頑丈な柱。歴史性や地域性を表現し、初代関戸橋の親柱デザインを再現します。

高欄・防護柵

歩行者と車両の逸脱・転落を防ぐ柵。初代関戸橋のアーチ意匠を受け継ぎ、景観と安全性を両立させます。

伸縮装置

橋の温度変化などの変位に対応する隙間を埋めるための装置。車や人が安全かつ快適に橋の上を通れるようになります。



新しい下流橋の完成イメージは  
 関戸橋通信 Vol.9 でも紹介しています

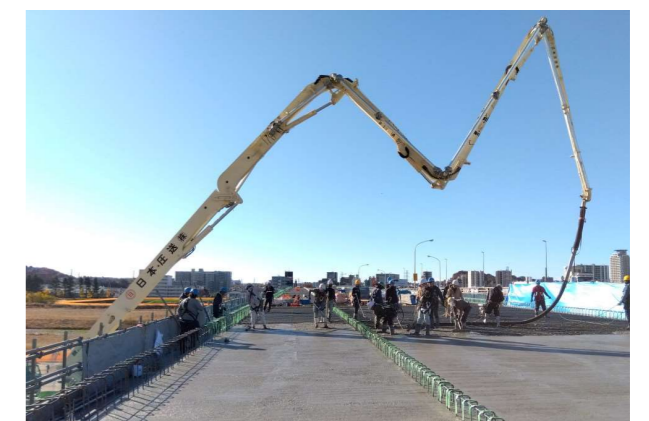
橋づくりのコンクリート“いま”と“むかし”

大正末期から昭和初頭の時代には、生コン工場がなく、現場でコンクリートを練り混ぜていました。当時の打込み作業は、練り混ぜたコンクリートをバケットに入れて吊り上げ、シュートで所定の位置に打ち込む、大変な作業でした。

現在は、生コン工場で品質管理されたコンクリートをミキサー車で運び、ポンプ車による直接所定の位置へ圧送して打込みます。



初代関戸橋コンクリート打込み状況  
 東京都建設局所蔵(昭和11年12月撮影)



新関戸橋コンクリートポンプ車による打込み状況  
 (令和8年1月撮影)